



ふれあいステーション西浦

地域の宝 西浦焼の学習

5年生の総合的な学習の時間に西浦焼の学習を行っています。

西浦焼保存会の皆様のお力添えのもと、大変充実した学習となっております。西浦焼の起源や美しい西浦焼がなぜ3代で途絶えたのか、どのように作られていたのかなど、子どもたちは興味津々で説明を聞いたり、疑問に思ったことを尋ねたりしました。また、窯跡の見学や西浦焼製作体験もさせていただきました。

総合的な学習の時間では、教科書のある国語や算数などとは違って、子どもたちが興味・関心をもったことやもっと深く知りたいこと、調べたいことなどを柱にして、追究・探求していく学習です。西浦焼の学習を通して、ふるさとの素晴らしさを知る機会にもなります。また、調べたことなどを自分なりにまとめ、発表や情報発信をすることも、国語などで培った力を発揮する機会となります。

さらに、できあがった自分の西浦焼を見たとき、陶工の吉田土作、陶作、東一の気持ちを想像することができるかもしれませんね。



※西浦焼保存会の皆様のご活躍をテレビ山口（3チャンネル）の番組「Mix」が取材しています。
11月上旬に放送予定です。

第21回西浦プチコンサート「石見神楽鑑賞会」

たくさんの方にご来校いただき、10月20日に第21回西浦プチコンサートが開かれました。「150周年記念石見神楽鑑賞会」として周防ちはや神楽保存会の皆様による「大蛇（おろち）」の上演をしていただきました。

大きな大蛇やスサノオノミコトの舞に、西浦幼稚園の子どもたちも、西浦小の子どもたちも、身を乗り出して見入っていました。大蛇がまるで生きているかのようにダイナミックに動き回り、会場からは感嘆の声も聞こえてきました。6年生は大蛇体験もさせていただきました。

見る人々を魅了する伝統芸能「石見神楽」を鑑賞できた素晴らしいひとときに感謝申し上げます。周防ちはや神楽保存会の皆様、ありがとうございました。

